



故 小室 光 先生

◇昭和9年5月2日、京都府与謝郡にて生◇昭和35年3月、鳥取大学医学部卒業◇昭和37年、京都第二赤十字病院整形外科勤務◇昭和40年、京都大学大学院医学研究科博士課程修了◇昭和47年、小室整形外科医院開業◇昭和62年、右京医師会会長就任◇平成元年、医療法人社団小室整形外科医院理事長就任◇令和5年8月3日逝去、89歳

小室光先生の在りし日を偲ぶ

右京 嵯峨野病院 小松 建次

小室光先生は長い御闘病の末に令和5年8月3日、京都宇多野病院でご逝去されました。先生は御闘病の間、よくその苦痛に耐えられ、89歳の御生涯を全うされたことに深い敬意を献げるものです。奥様はじめご家族の皆様がお力を結集されて御闘病を支えられて、先生はお幸せなお最期でありました。

小室先生は京都府宮津市のご出身であります。

そのご先祖は宮津藩士であり、幕末から明治初期に東奔西走、教育者として、またジャーナリストとしても活動され、歴史上に残るような小室家のご先祖であります。

しかし小室先生はお元気な時代から、ご自身の出自については一切話されたことはありませんでした。

先生は高校までは宮津で過ごされて、鳥取大学医学部にご進学になり、ご卒業後、京都大学

医学部で学位を取得されて、その後京都第二赤十字病院整形外科にご勤務されました。

当時の第二日赤整形外科初代部長の保田岩夫先生も宮津市のご出身であり、同郷のご縁であったと思います。

私は昭和40年代初めに第二日赤整形外科に勤務して、その時初めて小室先生にお会いしました。

当時の第二日赤整形外科には保田岩夫部長、岡田皖部長、鈴木能孝先生、小室光先生、深野木正人先生、寺内進先生の6人の先輩の先生方がおられ、大変和やかで楽しい雰囲気整形外科医局の時代でありました。

保田岩夫先生は同じ宮津人として、小室先生のご先祖のことをよくご存じであり、宮津藩士小室家についてもいろいろお話し下さったことを今も懐かしく思い出しております。小室家初代小室信介氏は宮津藩々校「礼

讓館」を経て慶応義塾に入塾され、教育者として宮津に「これからの京都の発展に尽くす人材を育てる」ために義塾「天橋義塾」を設立され、また大阪日報や朝日新聞に入社、ジャーナリストとしても活躍されたそうでもあります。

私が小室光先生に初めてお会いした時から、先生は気さくでお優しい先生であり、整形外科医として未だ駆け出しの私に色々ご指導も頂きました。ある時は病棟の回診が午前中に終わりますと、先生ご愛用のフォルクスワーゲンで京都の北の郊外の静かな見晴らしのいい喫茶店にお誘いを頂き、コーヒーを飲みながら様々なお話を伺った機会が何度かありまして、病院では感じられない素敵な先生のお人柄に触れたことでした。

小室先生はご趣味も豊かな方で、尺八演奏、俳句、有名画家の作品蒐集などの他に室内スポーツは麻雀、室外は競馬、またゴルフも少なざっていたようです。お宅に伺ったときに与謝野晶子の直筆書体の歌の軸を沢山見せて頂き、古い御家系の今日

に伝わる晶子氏とのご縁を思ったことです。

当時の第二日赤では院長をはじめとして医師の夜間開業は暗黙の了解事でありました。

小室先生も第二日赤勤務の傍ら、夜間開業をされました。小室先生が日赤ご当直の夜は私が小室整形外科の代診に伺いまして、奥様に助けて頂きながら診療を務めさせて頂きました。後に私が大阪で整形外科を開業したときにこの代診の経験は大いに役立ちました。今も小室先生に感謝致しております。

小室先生は数年の夜間開業から、やがて開業場所を三条通りに面した現在地の広い場所に移転されて、日赤病院をご退職になりました。

日夜患者の要請に休まれることなく、患者さん第一に診療に努められました。

現小室整形外科院長のご長男の元先生のお話では、ご尊父の光先生は家族旅行に行くこともなく、休日の夜中でも急患に対応し、休診するのを見たこともないなど、唯ひたすらに診療に務めたと話されています。光先生は、御多忙な診療の傍ら、右京医師会副会長として昭和58年から61年、会長として昭和62年、63年を務められました。

当時は未だ「適配」がどこの医師会にも存在しておりまして、新規の開業希望者がありますと、その近隣の開業医から反対意見が出ますと、新規開業はできないこともあり、会長としてはその対策に悩まれることでありました。

小室先生は会長として、いつも会員の増えることは大いに歓迎のお立場であり、何度もその問題で対策委員会を開催されていました。

お元気であった先生も晩年は、脊椎管狭窄症の手術や脳梗塞を患われて、整形外科医院は御長男の元先生に任されて、ご療養に専念されるようになりました。

小室先生には第二日赤時代から大変親しくして頂き、私の開業の際も色々ご指導も頂きました。

小室先生がお亡くなりになってしまって、私は本当に寂然の想い一入であります。

小室先生 長い間、本当に色々お世話になりました。ありがとうございます。

小室整形外科はご長男元先生によりまして、医院も新たに改装されて、大いに地域医療にご精進でありまして、光先生、どうぞ安らかにお休み下さい。

先生の御霊のご安寧を心よりお祈り申し上げます。

合掌